

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 朝日放送株式会社

コード番号 9405 URL <http://asahi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 克信

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 沖中 進

TEL 06-6458-5321

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	37,618	△7.7	△139	—	△14	—	△75	—
21年3月期第2四半期	40,765	—	△1,539	—	△1,483	—	△1,174	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△17.98	—
21年3月期第2四半期	△280.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	95,052	53,465	53.3	12,116.79
21年3月期	95,965	53,152	52.6	12,056.51

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 50,687百万円 21年3月期 50,435百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
22年3月期	—	45.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	△6.6	1,400	—	1,400	—	1,100	—	262.95

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	4,183,300株	21年3月期	4,183,300株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	40株	21年3月期	40株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	4,183,260株	21年3月期第2四半期	4,183,260株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提につきましては5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	63,500 △5.9	800 —	700 —	700 —	167 33

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)の日本経済は、輸出・生産など一部では持ち直しの動きがみられましたが、企業収益の大幅な減少や雇用情勢が悪化し失業率が高水準になるなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような経済環境は当社グループが主力事業を展開する放送業界にも深刻な影響を与え、テレビ・ラジオ媒体に対する広告出稿量が前年同期の実績を下回り、主力のスポットセールスをはじめネットワーク番組やローカル番組のタイムセールスなども極めて低調に推移しました。

また、京阪神地区では新型インフルエンザの集団感染が発生し、当社グループでもイベントの中止やゴルフ場のコンペ予約のキャンセルが相次ぐなど、少なからぬ影響を受けました。

こうした厳しい状況のなか、当社グループでは好調なテレビ視聴率・ラジオ聴取率を背景に積極的な営業活動を行ない売上確保に努力しましたが、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上面では放送事業をはじめ各セグメントで減収となり、売上高は376億1千8百万円、前年同期に比べ31億4千7百万円(△7.7%)の減収となりました。

費用面では、前年同期に計上された当社および連結子会社3社の新社屋への移転に際する一時費用が減少するとともに、さらなる業務改善による費用の圧縮を実施したことにより売上原価は261億9千3百万円と前年同期に比べて26億7百万円(△9.1%)の減少、販売費及び一般管理費については115億6千3百万円と19億4千1百万円(△14.4%)の減少となりました。

以上の結果、営業損失は1億3千9百万円となり前年同期に比べ14億円の改善、経常損失は1千4百万円となり14億6千8百万円の改善、第2四半期純損失は7千5百万円となり10億9千9百万円の改善となりました。

2. セグメント別の状況

[放送事業]

放送事業の売上高は330億3千6百万円で前年同期に比べ28億2千5百万円(△7.9%)の減収となりました。

放送事業では景気低迷の影響により極めて厳しいセールス状況が続きました。テレビ放送事業収入は、ネットワーク・ローカル番組ともレギュラー番組のセールスが低調に推移するとともに単発番組の本数減がありタイム売上が減少しました。また、全国的なスポット広告出稿量減少の影響でスポット売上も減少したため前年同期に比べ減収となりました。ラジオ放送事業収入は、ローカル番組のセールスが低調でタイム売上が減少したことなどにより前年同期に比べ減収となりました。その他の売上は、イベントなどの催物収入が増加したことなどにより増収となりました。

費用の面では、新社屋への移転に伴う一時費用が減少したほか、業務改善によるコスト圧縮やテレビ・ラジオの番組編成を見直すことなどで費用の削減を実施したことで営業損失は4億5百万円となり、前年同期と比べ15億2千1百万円の改善となりました。

[ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は41億3千7百万円で前年同期に比べ2億7千1百万円(△6.2%)の減収となりました。

ハウジング事業では景気低迷の影響で、住宅展示場における出展メーカーの一部撤退などがあり前年同期に比べ減収となりました。

費用の面では、住宅展示場における運営コストの見直しなどを行ないましたが、営業利益は2億7千7百万円となり、前年同期と比べ8千2百万円(△22.9%)の減益となりました。

[ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は4億4千4百万円で前年同期に比べ5千万円(△10.2%)の減収となりました。

ゴルフ事業では、景気悪化の影響で営業的に厳しい状況が続くなか、京阪神地区などで発生した新型インフルエンザの集団感染の影響によりコンペ予約のキャンセルが相次ぎ前年同期に比べ入場者数が減少したことなどにより減収となりました。

費用の面では、さらなるコスト圧縮に努めましたが、営業損失は1千1百万円となり、前年同期に比べ4千6百万円(△131.8%)の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億6千万円減少し288億6千1百万円となり、固定資産は6億5千2百万円減少し661億9千1百万円となりました。資産合計では9億1千2百万円減少し950億5千2百万円となりました。

流動負債は5億7千4百万円減少し129億1千9百万円となり、固定負債は6億5千万円減少し286億6千8百万円となりました。負債合計では12億2千4百万円減少し415億8千7百万円となりました。

純資産合計は3億1千2百万円増加し534億6千5百万円となり、負債純資産合計は9億1千2百万円減少し950億5千2百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが主力事業を展開する放送業界におきましては、いまなお厳しい経営環境が続く、収入主体であるテレビ・ラジオの広告を取り巻く状況の先行きの不透明感はいまだ拭えません。

当第2四半期累計期間につきましては10月29日に業績予想の修正をしておりますが、通期の業績予想につきましては、連結、個別ともに5月15日発表しましたとおり変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,539	7,329
受取手形及び売掛金	11,006	11,496
有価証券	7,749	5,493
番組勘定	836	1,051
その他	1,746	3,759
貸倒引当金	△17	△9
流動資産合計	28,861	29,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,579	24,951
土地	10,644	10,644
その他(純額)	12,508	13,517
有形固定資産合計	47,733	49,113
無形固定資産		
のれん	116	133
その他	1,660	1,646
無形固定資産合計	1,776	1,779
投資その他の資産		
その他	16,704	15,974
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	16,681	15,950
固定資産合計	66,191	66,843
資産合計	95,052	95,965

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	400	700
1年内返済予定の長期借入金	3,050	3,190
未払金	5,655	6,276
未払法人税等	178	104
引当金	—	13
その他	3,634	3,209
流動負債合計	12,919	13,493
固定負債		
長期借入金	2,040	2,060
退職給付引当金	11,020	10,801
引当金	57	57
負ののれん	430	516
その他	15,119	15,883
固定負債合計	28,668	29,319
負債合計	41,587	42,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	40,718	40,981
自己株式	△0	△0
株主資本合計	49,627	49,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,059	544
評価・換算差額等合計	1,059	544
少数株主持分	2,777	2,717
純資産合計	53,465	53,152
負債純資産合計	95,052	95,965

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	40,765	37,618
売上原価	28,801	26,193
売上総利益	11,964	11,424
販売費及び一般管理費	13,504	11,563
営業損失(△)	△1,539	△139
営業外収益		
受取利息	45	17
受取配当金	81	72
負ののれん償却額	85	85
その他	44	88
営業外収益合計	256	263
営業外費用		
支払利息	113	123
固定資産処分損	74	10
その他	11	4
営業外費用合計	199	138
経常損失(△)	△1,483	△14
特別利益		
有形固定資産売却益	56	—
特別利益合計	56	—
特別損失		
本社移転費用	234	—
その他	37	—
特別損失合計	271	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,698	△14
法人税等	△608	△14
少数株主利益	84	75
四半期純損失(△)	△1,174	△75

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	放送事業 (百万円)	ハウジング 事業 (百万円)	ゴルフ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	35,862	4,409	494	40,765	—	40,765
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	239	46	6	292	(292)	—
計	36,101	4,455	501	41,058	(292)	40,765
営業利益又は営業損失(△)	△1,926	360	35	△1,531	(8)	△1,539

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	放送事業 (百万円)	ハウジング 事業 (百万円)	ゴルフ事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	33,036	4,137	444	37,618	—	37,618
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	34	3	192	(192)	—
計	33,190	4,172	447	37,810	(192)	37,618
営業利益又は営業損失(△)	△405	277	△11	△139	—	△139

(注) 1 事業区分は、同一事業系列に属する連結会社を集約して区分しております。

2 各事業の主な内容

(1) 放送事業 テレビ、ラジオ放送事業及び関連事業

(2) ハウジング事業 住宅展示場運営事業及び関連事業

(3) ゴルフ事業 ゴルフ場運営事業

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成22年3月期第2四半期の個別業績 (平成21年4月1日 ~ 平成21年9月30日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	31,557	△8.0	△402	—	△373	—	△248	—
21年3月期第2四半期	34,297	—	△1,843	—	△1,811	—	△1,239	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
22年3月期第2四半期	79,475	48,789
21年3月期	79,968	48,718

(注) 個別経営成績 (累計) 及び個別財政状態の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

2. 個別売上高の内訳 (累計)

	前第2四半期 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	当第2四半期 自平成21年4月1日 至平成21年9月30日	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
テレビ放送事業収入				
タイム	6,834	6,110	△724	△10.6
スポット	16,742	15,461	△1,280	△7.7
番組収入	6,038	5,437	△600	△9.9
計	29,615	27,009	△2,605	△8.8
ラジオ放送事業収入				
タイム	891	730	△161	△18.1
スポット	658	615	△42	△6.5
番組収入	308	185	△123	△39.9
計	1,858	1,531	△327	△17.6
その他	2,823	3,016	193	6.8
合計	34,297	31,557	△2,739	△8.0